

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	環境センター担当課長 脇 一則
環境-26 今泉クリーンセンター管理運営事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 環境センター 関連課 環境施設課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境
	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための粗大ごみ処理施設、中継施設等の運転及び維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数	74,353人	74,548人	事業の対象者数	74,299人	
決算値(千円)	198,768	49,981	当初予算(千円)	59,573	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他	46,143	14,096	その他	9,463	
一般財源	152,625	35,885	一般財源	50,110	
人員配置数	8.2	8.2	人員配置数	8.2	
人件費(千円)	64,975	66,934	人件費(千円)	67,732	
総事業費(千円)	263,743	116,915	総事業費(千円)	127,305	
市民1人当りの経費(円)	1,486	660	市民1人当りの経費(円)	720	
対象者1人当りの経費(円)	3,547	1,568	対象者1人当りの経費(円)	1,713	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない		
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある		
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2. 適正な受益者負担を導入している	
			△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない	
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直し	事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	中継施設としての管理運営のため、必要な維持管理を行う必要があるため	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	一般廃棄物の処理については、市町村の責務となっており、事業系一般廃棄物の受入れ、搬送業務については確実に行う必要がある。 しかしながら、各年度のごみの繰越分が多いこと及び搬送量の制限があることから、中継施設としての管理運営に苦慮している。			

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	平成26年度末にごみピットに残ったごみを効率的に名越クリーンセンター搬送する。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	事業系ごみの直接搬入、搬送業務時間の延長及び市外の施設への搬送。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由			

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	同規模の積替え施設がないので他市比較はできない。								
----------------------	--------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	1日当たりの中継施設搬出量					単位	トン/日	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
1日当たりの標準搬出量(30トン)に対して、効率よく積み込むことにより上積みを図る。	目標値	30	30	30	30	30		30		
	実績値	24	36							
	達成率	80.0%	120.0%							

指標の 内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の 内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	効率よく積み込むことが出来ている。									
-----------------------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---